

子育て王国そじゃ



インタビュー
Interview

・輝いている人

介助犬について
もっと知ってもらいたい

昨年県内で2組目、市内で初めての介助犬ペアとなったのが、江口雄司さんとアイスクン（ラブラドルレトリバー雄3歳）だ。体が不自由な人に寄り添い、物を拾う・運ぶ、服を脱がせるなど、身の回りの世話をを行う介助犬。アイスクンとの出会いは、昨年の1月に訪れた名古屋の介助犬訓練センターだった。何頭もいる中でひとときわ困り顔でおっとりした性格が印象に残ったそうだ。そこから厳しい訓練を経て、11月1日に介助犬の認定審査に合格し正式にパートナーに。本来、ユーザーと介助犬の訓練などを始める前のペア組みには時間が掛かるとされている。江口さんとアイスクンはペア組みも問題なく、一緒に暮らし始めて約半年で信頼関係を築いている。「我が子のように、家

族の一員。どこに行くにも常に一緒」と江口さん。昨年末にはある事件が起きた。朝、トイレで転倒してしまい車椅子に戻れない状態に。アイスクンに「テイク携帯」、携帯電話を持ってくる」と指示した。緊急事態にも落ち着いて携帯電話を手元へ運んでくれ、119番通報することができ、事なきを得た。「一瞬焦ったが、的確に反応してくれて助かった」と話す。

これからの目標について尋ねると、「まだまだ介助犬の認知度は低い。講演会などを通してもっと知ってもらうためにも啓発活動をする。僕とアイスクンは一心同体。僕たちみたいなペアがたくさんできたら」。元気に迎えてくれたアイスクンも最後には眠ってしまった。仲の良い2人を見ていると自然と笑顔になった。

県内2組目、市内で初めての介助犬ペア誕生

江口雄司さんとアイスクン（新本）

ファミリーサポートセンター



ファミリーサポートセンターでの保育

ファミリーサポートセンターでは、サポーターが1対1で保育することで、安全・安心で楽しい時間を過ごしていただけます。次のような時に利用されています。

▼兄弟姉妹の保育参加日、入園・入学式、卒園・卒業式（会員無料2時間サポート+延長）▼保護者の求職活動や育休後の復帰準備▼育児援助（出産後や保護者の体調不良時）▼家族や保護者の通院の時間▼保護者の土・日曜日、祝日勤務の時間▼保護者のリフレッシュタイム▼子どもが病気になった時

会員になると電話で予約ができ、前日までのキャンセルならばキャンセル料は発生しません。

「子育ての安心保険」としてご利用いただけるのがファミリーサポートセンターです。

申込先・問い合わせ NPO 法人保育サポート「あい・あい」(☎04 5665、総社ふれあいセンター内)

チュッピー子育て
ほっとメール

kosodate@city.soja.okayama.jp

子育ての相談をしたくても時間がとれない人、窓口で相談しにくい人の悩みに、チュッピーと職員・保健師が答えます。



学校給食 おすすめレシピ

鶏肉のチリソース



●材料（4人分）

- 鶏もも肉…2枚、●タマネギ…1/2玉、●料理酒…大さじ1、●片栗粉…適量、●サラダ油…適量、●ソース調味料…トマトケチャップ=大さじ3、豆板醤=お好みの量、砂糖=小さじ2、醤油=大さじ1/2、料理酒=大さじ1、酢=大さじ1/2

●作り方

- ①鶏肉は一口大に切り、料理酒をふりかけておく。タマネギはみじん切りにする。
- ②①の鶏肉に片栗粉をまぶし、180℃の油で揚げる。
- ③①のタマネギをフライパンで炒め、少し透き通ってきたらソース調味料を加え、とろみが出るまで加熱する。
- ④②に③を加え、からめる。

その他の献立 ごはん、牛乳、ひじきの中華あえ、ワンタンスープ、プルーン